

# 21か国が参加

# ごみ拾いW杯

11月29日（水）  
「ごみ拾いW杯」

- ①「スポGOM」が陸から生まれ、問題を世界に発目的に開かれ、エリアで、前半分以内にごみ種類をもとに得らいます。各国の63人が参加します。
  - ②スペイン代表の飲食店が集まる。この吸いながら置くに置かれたかなどを次々に拾い、ハブニン了時間をまちがひ地点にもどります。後半戦は、い速くの場所です。順位は10位です。
  - ③メンバーはスレ、ごみ拾いのついで、ダビドんは「いろいろり合えます。知ントを開くことせん」と話さないのが一番。
  - ④日本代表は、み拾いをしていきまきまなど、かくめ、前半戦を！
  - ⑤後半戦は、前かごみ拾いをねがならぶエリア「ごみ拾い」。
- 杯は、多く海洋ごみのごとなどを決められた、それぞれ45その量や種、ポイントで競勝ちぬいた。
- 「ト直後、をめさしま、販売機の近、ットポトル、きます。し、前半戦の終、分早くゴール、しまったの、ームがいな、集め、最終ンでそれぞ、トに関わっ、会の魅力に、カストロさ、参加者と知、た人とイベ、かもしれま、けれど...
- の海岸でご、建物のす、みを拾い集、えました。拾いきれな、再び飲食店、だあつちの、声をかけあ

小学生もやってみよう！ スポGOMI

## 自分の生活につながっていると実感

- ⑥「3人は途中、顔を見せました。かかえきれないほ、きます。つかれが、綱本麻利子さんはながら競うのが、顔を見せました。
- ⑦結果は計83、めたイギリスが、勝しました。家後、選手がすこく強、うことで心が豊、とを発信してい、した。
- ⑧主催者代表のランニング中、い始めたことが、OMIを考えま、くるときは、性、ないよう気をつ、
- ⑨W杯の開催は、る「大きな一歩、信じていきたい、「ごみ拾い」の問題が自分の生、ると実感できる、生にもスポGO、杯に参加し、し、「ご」と期待し、
- ⑩大会はソーシ、シアチフが開き、しました。第2、年、東京都で開